

魚 建 第 364 号

平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

魚沼市長 星 野 芳 昭



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付で依頼のあったこのことについて別紙のとおり回答
します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

① 道路行政について改善すべき点、要望や提案など

新潟県魚沼市

（地域の特性に応じた財政援助を）

当市は、少子高齢化、人口減、財政の逼迫、豪雪等様々な悪条件の中にあることから費用対効果の優先ではなく地域の特性に合った財政援助を要望します。

（直轄負担金の見直しを）

国直轄による道路事業では、その費用の一部を県が負担をすることになっており、市町村への負担はありません。しかし、県の負担金は土木予算を圧迫し、ひいては県事業の削減にいたっています。地方財政が破綻の危機にさらされている現在、直轄負担金の負担率の軽減又は廃止を要望します。

（地方道路整備財源の拡充強化）

遅れている地方の道路整備への強いニーズに対し、大幅に不足している地方の道路整備財源を増額するよう要望します。特に橋梁長寿命化の初期点検に対する財政援助を要望します。

（地域の特性に応じた道路整備を）

当市で現在計画されている県道改良にＪＲとの交差箇所があり、その交差はアンダーパスであります。しかしながら、その費用は２３億と多額であり、現状の県財政では着手が困難な状況です。時代の推移とともにＪＲのローカル線は本数が減じられている中では平面交差で支障もなく、経費も５分の１程度で済むことから、是非とも平面交差を承認いただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式②

新潟県魚沼市

○現状

住民要望の大半が道路関係であるものの、財政事情によりその大部分が翌年度以降へと先送りされている。また、住民要望の内容は、市外へのネットワーク化ではなく現道の拡幅、歩道整備、無雪化である。

中越大震災から４年を迎えようとしている現在も路床、路体の空洞化による路盤沈下が続いており、維持補修に多額の予算を要している。

○課題

先送りされている住民要望を計画的に解消していくことが早急な課題であり、広域的な行政区にあって、スピーディな対応が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

様式③

新潟県魚沼市

○現状

快適で利便性の高い道路ネットワークを形成するため、市外へのアクセス道路や市内主要幹線の整備、交通弱者に配慮した生活道路を整備し、又、雪や災害に強い道路整備を進め、冬期においても良好な交通環境を確保する。

○課題

道路整備には多額な予算が必要であり、近年の財政事情においては、アクセス道路や幹線道路の事業化が難しいなか、現道を有効的に活用した道路整備が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

新潟県魚沼市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・ 少子・高齢化社会に対応したバリアフリー化 ・ 冬期道路交通の安全確保 ・ 道路施設の適切な維持管理	・ 通学路の歩道のネットワーク化 ・ 消雪パイプの新設・更新 ・ 除雪機の増強・更新 ・ 橋梁の修繕による長寿命化	・ 県道で整備された歩道と住宅地内の市道に歩道を整備することにより、ネットワーク化され通学児童や高齢者の交通安全が確保される。 ・ 地域の利便性が向上し、住宅分譲等地域の活性化が期待される。 ・ 将来予想される橋梁コストの縮減が図れる。	

様式 4 の参考事例

新潟県魚沼市

代表事例	路線名等	事業内容（地区名等）
通学路の歩道のネットワーク化	市道新保小出線	歩道新設 L = 260m （広神地区）
消雪パイプ等の新設・更新	市道大河原中原線ほか 11 路線	削井 4 箇所 削井、散水管 4 箇所 散水管 4 箇所
除雪機の増強・更新	ロータリー除雪車等の更新	2.2m級ロータリー除雪車 2 台（堀之内、守門地区） 1.5m級ロータリー除雪車 1 台（小出地区） 13 t 級除雪ドーザ 1 台（守門地区）
橋梁の修繕による長寿命化	堀之内 28 号線下島橋ほか 7 橋	長寿命化の点検業務委託